

第二種衛生管理者試験解答解説(平成 28 年 10 月公表)

[関係法令]

問 1(2)

(1)「清掃業」の事業場では第二種「以外」の衛生管理者免許を有する者(第一種、衛生工学衛生管理他)から衛生管理者を選任しなければならない。

(2)正しい

(3)専属でない労働衛生コンサルタントのうちから選任することができるのは「1人」までである。

(4)衛生管理者の専任の有害業務に「深夜業」は含まれない。

(5)衛生管理者選任の所轄労働基準監督署長への報告は「遅滞なく」である。

問 2(1)

A.総括安全衛生管理者

B.毎週1回

C.衛生状態

問 3(1)

(1)衛生委員会の議長を除く「全委員」ではなく「半数の委員」である。

(2)正しい

(3)正しい

(4)正しい

(5)正しい

平成 28 年 4 月公表問題問 22 の変形

問 4(2)

(1)正しい

(2)雇入時の健康診断の項目は医師の判断では省略することは出来ない。

(3)正しい

(4)正しい

(5)正しい

平成 27 年 10 月公表問題問 23 の変形

問 5(2)

A.疲労の蓄積

B.ときは遅滞なく

C.5

平成 28 年 4 月公表問題問 24 の変形

問 6(3)

(1)雇入れ時の安全衛生教育の一部が省略できるのは労働災害の発生危険性が少ない業種や教育事項のいずれかに

十分な知識及び知能を有している者であり、「事業場の人数」で判断されるものではない。

(2) (1)と同様に「雇用の期間」で判断されるものではない。

(3)正しい

(4)「通信業」は労働災害の発生危険性が少ない業種には該当しない。

(5)「雇入れ時の安全衛生教育」の実施記録には作成の保存義務はない。

問 7(5)

(1)違反無し

(2)違反無し

(3)違反無し

(4)違反無し

(5)休憩室は炊事従業員「専用」を設ける必要がある。

平成 28 年 4 月公表問題問 25 の変形

問 8(2)

A.17

B.28

C.40

D.70

問 9(4)

(1) 非常災害の場合、公務員で臨時の必要性がある場合などは労使協定(36 協定)を締結することなく労働時間を延長することが出来る。

(2) 労働時間に関する規定の適用は事業場が異なる場合は通算する。

(3) 労働時間が8時間を超える場合は少なくとも「1時間」の休憩時間を労働時間の途中で与えなければならぬ。

(4) 正しい

(5) フレックスタイム制の清算期間は「1か月」以内の期間で起算日を定める必要がある。

問 10(1)

(1) 就業規則の作成又は変更には、過半数労働組合(過半数代表)の「意見」を聞けば良く同意は不要である。

(2) 正しい

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

平成 27 年 10 月公表問題問 26 と同じ問題

問 11(4)

(1) 誤り

(2) 誤り

(3) 誤り

(4) 正しい 必要換気量の算出に当たっての室内二酸化炭素基準濃度は、通常「0.1%」とする。

(5) 誤り

問 12(2)

A…相対湿度は「乾球温度」「湿球温度」から算出される。

B…実効温度は気温と湿度に「気流」の測定値から実効温度図表の目盛を読むことにより求められる。

C…不快指数は「乾球温度」「湿球温度」から算出される

D…WBGTは気温と湿度に「輻射熱」を加味して求められる。

(1) 誤り

(2) 正しい

(3) 誤り

(4) 誤り

(5) 誤り

問 13(2)

(1) 正しい

(2) 全般照明と局部照明を併用する場合、全般照明による照度は、局部照明による照度の「10分の1以上」になるようにする。

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

[労働衛生]

問 14(5)

(1) 正しい

(2) 正しい

(3) 正しい

(4)正しい

(5)VDT 健康診断は一般健康診断を実施する際に併せて実施してもよいが運動機能検査は含まれていない。

平成 27 年 10 月公表問題問 28 の変形

問 15(4)

(1)正しい

(2)正しい

(3)正しい

(4)栄養指導のためには「産業栄養指導担当者」を配置する。

(5)正しい

問 16(2)

偽陽性率…疾病がないのに、陽性と判断された者の率

偽陰性率…疾病があるのに、陰性と判断された者の率

偽陽性率… $180 \div (795+180) \times 100 \approx 18.5\%$

偽陰性率… $5 \div (20+5) \times 100 = 20\%$

平成 25 年 4 月公表問題問 29 の変形

問 17(1)

(1)体内の全血液量の「3分の 1」程度が急激に失われると、生命が危険な状態となる。

(2)正しい

(3)正しい

(4)正しい

(5)正しい

平成 27 年 4 月公表問題問 31 の変形

問 18(2)

- (1) 水泡ができるのはⅡ度である。
- (2) 正しい。
- (3) 水泡は破いてはいけない。
- (4) 中和剤は用いずに、直に水で洗浄する。
- (5) 皮膚がはがれてしまうおそれがあるので、そのまま冷やす。

平成 27 年 4 月公表問題問 32 の変形

問 19(4)

腸炎ビブリオ菌を「病原性好塩菌」ともいう。

平成 24 年 10 月公表問題問 33 の変形

問 20(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) HDL コレステロールは「善玉コレステロール」と呼ばれる。悪玉コレステロールと呼ばれるのは LDL コレステロールである。
- (4) 正しい
- (5) 正しい

[労働生理]

問 21(1)

- (1) 正しい
- (2) 記載の内容は「外呼吸」である。
- (3) 成人の呼吸数は食事、入浴や発熱によって「増加」する。
- (4) 呼吸中枢がある場所は「延髄」である。
- (5) 身体活動中は、血液中の「二酸化炭素分圧」の上昇により呼吸中枢が刺激される。

平成 28 年 4 月公表問題問 35 の変形

問 22(1)

(1) 心臓は、心臓の中にある「洞結節(洞房結節)」で発生した刺激が刺激伝導系を介して心筋に伝わることにより、規則正しく収縮と拡張を繰り返す。

(2) 正しい

(3) 正しい

(4) 正しい

(5) 正しい

問 23(4)

(1) 正しい

(2) 正しい

(3) 正しい

(4) 消化管に対しては、交感神経は運動を「抑制」し、副交感神経は運動を「促進」させるように作用する。

(5) 正しい

平成 28 年 4 月公表問題問 37 の変形

問 24(3)

A.ブドウ糖

B.アミノ酸

C.脂肪酸とグリセリン

D.脂肪

問 25(3)

(1) 血中の老廃物は「糸球体」からボウマン嚢に濾し出される。

- (2) 血中の蛋白質は分子構造が大きいため、ボウマン嚢には濾し出されない。
- (3) 正しい
- (4) 原尿中に濾し出された電解質の多くは、「尿細管」から血液中に再吸収される。
- (5) 原尿中に濾し出された水分の大部分は、尿細管から血液中に再吸収される。

平成 28 年 4 月公表問題問 39 と同じ問題

問 26(4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) Bリンパ球とTリンパ球の機能の記載が逆である。
- (5) 正しい

平成 28 年 4 月公表問題問 40 の変形

問 27(3)

- (1) 刺激の量と感覚の強度とは「曲線的」な比例関係にある。
- (2) 冷覚点の密度は他の感覚点に比べて低い。冷覚点1cmあたりの密度約 6～23 個に対し、痛覚点は約 100～250 個。
- (3) 正しい
- (4) 眼軸が短過るために起こるのは「遠視」である。
- (5) 前庭及び半規管は「内耳」にある。

平成 26 年 10 月公表問題問 41 の変形

問 28(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) パラソルモンの内分泌器官は「副甲状腺」、はたらきは「カルシウム量の増加」である。
- (4) 正しい

(5)正しい

平成 28 年 4 月公表問題問 42 の変形

問 29(4)

(1)正しい

(2)正しい

(3)正しい

(4)荷物を持ち上げたり、屈伸運動を行う時は、筋肉の長さが変わる「等張性収縮」が生じている。

(5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題問 43 の変形

問 30(5)

(1)正しい

(2)正しい

(3)正しい

(4)正しい

(5)基礎代謝量は睡眠中ではなく「絶対安静時」のエネルギー消費量である。

平成 27 年 4 月公表問題問 44 の変形